

岩高短歌

くワタシタチノウタく

月間優秀賞作品 R6⑥

発行者
岩出山高校
国語科

〔十月〕 赤色・秋のもの・教室・政宗公まつり・就職・入試

月間賞

赤色のお便りが舞うお知らせは秋の終わりと冬の始まり

第二席

紅葉舞う夕日の中で君笑う私は君にカメラを向けた

第三席

放課後の一人の教室淋しくて夕日の炎で解かされて行く

赤とんぼ夕暮れの空に染められて落ち葉と吹かれる秋の郵便

秋深き紅葉の山に陽は落ちて夕闇迫る十月の空

優良賞

黄昏の空を見上げてふと思うおんなじ空はもう見れないと

教室に準備期間の思い出が床にたくさん散らかっている

月明かり目を奪われる輝きにかすむ星々は私のように

秋の五時肌寒くなったこの時期にあなたと帰るの久しぶりだね

この気持ち伝えたかった夏の夜季節を越えて紅葉に言う

暁月の夜明けを知らぬ輝きはあなたのもとに続く道筋

夏の匂い秋の匂いが混じり合いぬるい暑さが身に染みている

銀杏を臭い臭いと言った日も大きくなれば感じはしない